



〈雑録〉世界經濟上ニ於ケル農業及工業ノ調和

氣賀，勘重

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 4(3):383-390

(Issue Date)

1908-03

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051239>



世界經濟上ニ於ケル 農業及工業ノ調和

フクトル 氣賀勘重

當今ノ經濟學者ニ一種ノ注意ス可キ議論ノ行ハル、モノアリ。即チ世界的市場ノ範圍ガ日月ニ狹隘ニ赴クヲ恐ル、ノ議論ニシテ其要旨ニ曰ク、活潑ナル企業ノ活動ガ其度ヲ加フルト共ニ製造品輸出ハ絶エズ世界的市場ニ向テ激烈ナル競争ヲ惹起スニ至ル可ク從テ是等ノ競争上他ヲ威壓シ得ルモノハ最モ羨望ニ値ス可キモノナリ云々ト。然レド此議論ノ中ニハ社會學上往散見スル一種ノ誤謬ノ存スルモノアリ。他ナシ元來相互連結セル二個ノ現象ニ對シテ其一ヲバ絶エズ進歩シ發達スルモノト看做スト共ニ他ノ一ヲバ一定不變ノ狀態ニ止マルモノト爲スコト是ナリ。蓋シ一定ノ領域内ニ於ケル人口ノ増殖ト工業ノ發達トハ著シク世人ノ目ニ映ズルモ

之レニ反シテ農業上ノ經營及發達ハ靜止的ニ觀
ゼラル、ノ常ナレバナリ。然レバ彼ノ三十萬乃
至五十萬方^{キロイタリ}糶ヲ包括スル歐洲ノ所謂大國ニ就テ
之ヲ觀ルモ亦等シキ謬見ノ多少存スルモノナキ
ニ非ザルガ如シ。然レドモ事實ノ證明スル處ニ
據レバ或一地方ニ於ケル工業ノ迅速ナル進步ニ
對シテハ他ノ地方ニ於ケル農業ノ進步ノ決シテ
之ニ劣ラザルモノ存スルノ狀ナキニ非ズ。唯ダ
一部ノ工業地ニアリテハ其農業ノ發達殆ド見ル
ニ足ルモノナシト雖モ、然カモ全世界ニ就テ觀
察スルトキハ必ズシモ然ラザルヲ知ル可シ。即
チ歐羅巴ノ諸工業國ニアリテハ何レモ農民ノ國
內移住及ビ海外移住アルニ拘ラズ、農業ノ經營
ハ技術上竝ニ經濟上進步ノ形績駿々トシテ毫モ
衰フルコトナク殊ニ歐米ノ文明諸國及英領印度
ノ如キ半開化ノ地方ニ於テ農業組合ノ著シク發
達セシガ如キ將タ又是等ノ地方ニ於テ其個人タ
ルト國家、社會タルトヲ論ゼズ等シク務メテ收

穫高ノ大ナランコトニ盡カスルガ如キハ此進步
上最モ注目ス可キ現象ト云フ可シ。併シ獨リ文
明諸國ガ農業上ノ發達ニ於テ顯著ナルノミナラ
ズ、人口稀薄ナル海外諸國ノ疎放の又ハ集約的
ナル農業ニ在リテモ其進步更ニ大ナルモノナキ
ニ非ズ。惟フニ此等ノ地方ニ於ケル大仕掛ノ土
地開墾狀態ヲ觀察セル人ハ彼ノ一小地域ニ限ラ
ル、工業ノ發達ニ比シテ其農業ガ殆ンド之レト
異ナラザル進步ノ狀態ニ存スルヲ知ルヲ得可
シ。其顯著ナル實例ハ十九世紀ニアリテハ北米
及「ラ、ブラタ」ニ於ケル歐人ノ移住ノ如キ、西比
利亞ニ於ケル露人ノ侵入ノ如キ將タ濠州及「ニ
ユージラランド」ニ於ケル英領植民地ノ進步ノ
如キ、又ハ「ケーフ」植民地「ナタル」植民地等ニ
於ケル英國及和蘭ノ植民地ノ如キ既ニ世人ノ熟
知スル所又二十世紀ニアリテハ「ロデシア」「カ
ナダ」ノ北西部小亞細亞、「メソポタミア」、埃及
蘇丹ノ如キ、將タ運河ノ開鑿ガ印度移住民ヲ增

加セシメシガ如キ、或ハ「メヘメツトアリ」ノ政策ガ十九世紀ノ初期ニ於ケル二百五十萬ノ埃及農民ヲシテ二十世紀ノ初期ニ於テ千五十萬ノ數ニ達セシメシガ如キ皆是ナリ。其他尙ホ農業ノ經營ニ最モ適セル熱帶地方ハ氣候上及心理上ノ理由ニ基ヅキ亞熱帶及溫帶地方ニ見ルガ如キ大仕掛ノ工業ニ適セザルナリ。要スルニ世界各地方ニ於ケル農業ノ非常ナル發達ヲ認識セバ農業ノ靜止的狀態ヲ前提トシテ世界市場ノ大進歩ヲ説キ之ガ將來ヲ危懼スル論者言ノ如ク現代工業ノ進歩ガ必ズシモ左迄偉大ナラズ左迄危險視スルニ足ラザルヲ認識スルヲ得ベシ況ンヤ、各地方ニ於ケル農業ノ進歩ハ個人ノ活動ニ基ヅクノミナラズ寧ロ歐洲諸國ノ政府並ニ金融市場等ノ經濟政策ニヨリテ決セラル、ノ實アリ。即チ自國製造ノ工業品ノ爲ニ安全ナル販路ヲ求メントセバ勢ヒ之レガ購買者ヲ得ルガ爲メニ海外植民地ニ於ケル農業經營ヲナスノ必要ヲ生セザ

ルヲ得ズ、此ノ如キハ歐洲諸國、北米合衆國及日本等ノ植民政治上ニ於テ正ニ吾人ノ見ル處ナリトス。然レド以上ノ如キ製造品販路ニ關スル努力ハ必ズシモ非常ナル發展ヲナスモノニアラズ、何トナレバ吾人ガ埃及及印度ニ於テ見ルガ如ク是等地方ノ工業上ノ勃興ガ明ニ本國ニ於ケル工業發達ノ障害トナルヲ以テナリ。

又世界の市場ニ於ケル製造品ノ販路ニ就テ杞憂ヲ抱ケル經濟學者ハ工業原料品ノ大部分ガ農產物ヨリ成ル所以ヲ忘却セリ。實ニ農產物ノ供給ナクンハ大仕掛ノ工業ハ不可能ナラザルヲ得ズ、而シテ此農產物ハ即チ農民ノ發達ヲ促サバ爾ヲ得ザルモノナリ。

農業者ガ供給スル工業原料品ノ價格ガ精製品ノ價格ヨリ廉價ナルノ事實ハ以テ世界經濟上ニ於ケル農業ト工業ノ調和ヲ破ルモノトシテ解セラル可キカ、物價表ヲ一覽スルニ原料品ノ價格ト製造品ノ價格トノ差ガ左迄大ナラザルハ多ク

ノ重要ナル農產物ニ之ヲ見ル所ニシテ、即チ原料品ノ價格ガ高價ナルニ從ヒ之ヨリ製造セラルル物モ亦高價ナルノ傾向ヲ有スルガ如シ。殊ニ價格ヲ比較スルニヨリテ一見明白ナルハ織物ニ供セラル、動植物の原料品ノ之ヨリ製造セラルル燃絲及普通ノ織物ニ於ケルガ如シ。

更ニ進ンデ觀察スル時ハ工業上ニ供セラル、主要ナル原料品ハ「ブラジル」及「ペロポンネサス」ノ「コリント」地方ニ於ケル珈琲栽培ニ見ルガ如キ單一耕作ノ產出ニ係ルモノニアラズシテ多クハ農家ノ副業又ハ分業ニ出ヅルモノナルヲ知ル可シ。例ヘバ養蠶業ガ農家ノ副業ニ屬シ、羊毛及毛皮ノ採集ガ牧畜業ノ副業タルガ如ク、又タ多クノ場合ニ於テ伐木業ガ中部歐羅巴ニアリテ主トシテ農家ノ冬期ニ於ケル副業タルガ如シ。斯ノ如ク原料品タル農產物ノ生産ガ十中八九ハ只ダ農家ノ副業ニ出ヅル者ナル以上工業ノ發達ニ伴ヒ是等農業上ノ副業ニヨリテ生産セラ

ル、原料品ノ需要ノ益々大ナルニ至ルハ爭フコトナラズ。而シテ此需要ノ増加ハ自ラ其本業タル農業ノ發達ヲ招ク所以タラザルヲ得ズ。之ト同時ニ農家(家族及使僕)ガ自己ノ生産ニカ、ル物品ヲ直接ニ消費セザル場合ニハ其殘品ハ製造者ノ購買スル處トナリ更ニ工業上ニ新販路ヲ開クニ至ル可シ。

其他工業品ガ農家ノ需要ヲ満足セシムルノミナラズ更ニ生産過超ノ窮狀ニ陥ルニ至ル可シトノ偏見ハ、蓋シ人口増殖(主トシテ工業市ノ人口ヲ云フ)ノ趨勢ガ近キ時代ニ於テ吾人ノ日常生活スル農產物殊ニ穀物ノ缺乏ヲ生ズルニ至ラシム可シトノ推測ニ出デタルモノナル可シト雖モ然レモ溫帶地方即チ「ラ、ブラタ」、「カナダ」合衆國ノ一部及西比利亞ニ於ケル疎放の開墾ト歐羅巴ノ大部分即チ露西亞「バルカン」諸州及西班牙ノ集約的農業經營トハ以テ非常ナル穀物ノ量ヲ產スルニ足ル可ク、又假リニ是等溫帶地方ニ

於ケル穀物地域ヲ除クモ尙ホ過去ニ於テ生産額ヲ有セザリシ熱帶地方及「メソポタミア」小亞細亞ノ大部分、北西亞弗利加等ノ溫帶地ノ存スルヲ見ル可シ、且ツ熱帶地方ニ於ケル一平方^{キロメーター}方^{マイル}ノ人口ハ二百人以下ニシテ彼等ハ近世ノ進歩發達セル農具ヲ使用スルコトナク只ダ太古ノ慣習ニヨリテ耕作ニ從事スルニ拘ラズ尙ホ多額ノ穀物ヲ產セリ、況ンヤ以上ノ人數ニ達セルハ只ダ爪哇ノ如キ一小部分ノミニシテ、其他生産力ニ富ム熱帶地方例ヘバ「ブラジル」ノ大部分「グアナ」其他ノ南米諸州ノ如キハ概テ世界ノ人口最モ稀薄ナル部分ニ屬セルナリ

穀物供給不足ノ外尙ホ世人ノ憂悞スル一點ハ殊ニ「蔬菜」ノ不足ニアルガ如シ。然レドモ其論點ハ甚ダ薄弱ナリ。吾人ガ諸種ノ穀物ヨリ得ル滋養分即チ澱粉ハ廉價ナル馬鈴薯「バオバブ」「バナ、」等ヨリモ之ヲ得可ラザルニ非ズ。故ニ食料品ノ缺乏ト云フ點ヨリ見ル時ハ重要ナルハ

蛋白質食物ナル可シ詳言スレバ魚、鳥、獸肉、乳汁、鶏卵其他漿果類及脂肪ナル可シ。而シテ此蛋白質滋養分ノ生産ハ主トシテ吾人々類ト他動物トノ間ニ於ケル穀物分配ノ問題ヲ生ズルモノナリ。蓋シ吾人々類ノ食物トシテ穀物類ガ栽培セラル、間ハ其生産額ハ以テ他ノ屠獸及乳獸ヲ養畜スルニ足ル可シ、只ダ形式的理論的ニ澱粉ヲ生ズル滋養物作成ノ問題ト蛋白質ヲ得ル問題トヲ區別スルモ然カモ實際ノ場合ニアリテハ穀物ニヨリテ屠獸及乳獸ヲ飼畜スルト農業上ニ於ケル肥料(糞)使用トノ間最モ密接ノ關係ヲ有スルモノアリ。又吾人々類及他動物ニ對スル澱粉含有滋養物ト吾人々類ニ對スル蛋白質、脂肪質滋養料トノ間ニハ更ニ甚シキ密接ノ關係存スルナリ。想フニ世界ノ重要ナル地方ニシテ此後益々人口緻密トナル際ハ牧地ノ如キハ著シク減少セラル、ニ至ル可ク、而シテ此等牧地ノ消滅ハ同時ニ人類及家畜ノ養料タル蔬菜ノ生産額ヲ高ム

ルニ至ル可シ。埃及ノ如キハ即チ好適例ナリ。依是觀之牧畜ハ人口緻密ノ地方ニ於ケル非常ナル需要ニ伴フ能ハズシテ主トシテ農家ノ役畜トナリ、其不足ハ屠獸或ハ肉類ノ輸入ニヨリテ他ヨリ補充セラル、ニ至ルベシ。

又タ「マルサス」ノ感化ヲ被レル多數ノ經濟學者中ニハ吾人ノ日常食物ニ供スル農產物殊ニ穀物ヨリモ工業ノ進歩ノ遙ニ速ニ發達ス可キヲ考フル者アリ。畢竟工業ノ原料品ガ農產物タルコトヲ餘リニ輕視セルニヨリ出デタルノ見ナリ曰ク工業市ニ於ケル人口ノ増殖ハ其食料ノ缺乏ニ先ダチ先ヅ工業ニ使用ス可キ材料ノ缺乏ヲ告グルニ至ルナキヲ保ス可ラズ。例ヘバ或種ノ木材ノ如キハ今日既ニ甚ダ稀少ニシテ、殊ニ歐羅巴及北亞米利加ニテハ原料品ノ價格甚シク騰貴セルノ狀アリ又彼ノ軟弱ナル木材ガ製紙原料トシテ最も重要ナルガ如キ將タ木質堅キ木材ガ建築用、鑛坑用、及枕木トシテ需要ノ増加シタルガ

如キ、或ハ製紙ノ需要ガ熱帶及亞熱帶地方ニ於テ盛シナルガ如キ、然カモ此等ノ原料ノ當今益不足ヲ告グルガ如キ、即チ是ナリト。然レドモ比較的近キ時代ニ於テ穀物缺乏ノ問題ガ著シク世人ノ腦裡ニ印セラル、ニ際シテハ木材ノ缺乏ハ唯々斯道ノ專問家及一二ノ利害ノ關係者ヲ除クノ外ハ左迄注意スル人アラザルガ如シ。

其他木材ト同ジク農產物ニシテ工業上ノ原料品ニ使用セラル、モノ、中、第一位ヲ占ムルハ諸種ノ織物ニ使用スル原料ナル可シ。然レドモ此原料タルヤ吾人ガ前ニ述ベシ如ク農家ノ副業ナルヲ以テ織物業ノ發達ニ對シテ其需要ヲ悉ク満足セシムルコトハ到底不可能ナル可シ。之ト等シク牧畜業ニヨリテ供給セラル、工業上ノ原料品及補助品殊ニ獸皮、腸角、羽毛等モ亦然ルナリ。以上ノ事情ヨリシテ之ヲ觀レバ農業者ニシテ是等工業上ノ原料ヲ供給シ又タ牧畜業ガ多クノ重要ナル場合ニ於テ農業者ノ副業又タハ分

業タル間ハ決シテ工業者ハ自己製造品ノ販路ニ
關シテ困難ヲ感ズルコトナカル可シ。

其他時トシテハ一國ガ工業上及農業上恐慌ノ
困厄ニ陷ルコトアリ、然レドモ是等ノ恐慌タル
ヤ大概テ其時期局限セラレ其結果延ヒテ世界經
濟ノ全局面ニ及ブガ如キハ殆ド稀ナリ。唯々茲
ニ除外例トシテ顯著ナルモノハ千九百六年ノ春
「セルビア」ガ澳太利匈牙利ト關稅戰爭ヲ開始セ
シ際ノ一例ナリ。當時同國農業產物ノ販路ハ杜
絶セラレ國民經濟上ニ非常ナル打撃ヲ與フルニ
至ルコトアリト雖モ然レドモ斯ル事情ハ世界經
濟上ニ於ケル農業及工業ノ調和問題ニ對スル反
證タルモノニアラズ。

唯々茲ニ此調和ニ向テ著シク障害トナルモノ
ハ過激ナル保護政策ヲ奉ズル國ナリトス、此等
ノ邦國ニアリテハ菲政ノ結果、地方ノ農民ハ購
買力ヲ失ヒ相率ヒテ自己ノ經濟狀態ヲ改善セン
ガ爲ニ都市其他ノ工業地ニ流入スルニ至ル。而

シテ此等ノ都市的工業地ニアリテハ一方ニハ保
護關稅ノ補助ヲ受ケ又最低ノ勞銀ニヨリテ工業
上ノ經營ヲ爲スモ然カモ其工業背後ニハ唯々可
憐ナル地方ノ農民アルノミナルノ慘狀ヲ呈スル
ナリ。其適例ハ千九百年ニ於ケル露國ノ恐慌並
ニ千八百九十年春高率ノ保護關稅ヲ實施シ殊ニ
千八百九十八年以來「キユバ」ポルトリコノ如キ
重要ナル販路ヲ失ヒシ西班牙ノ狀態ナリトス。

次ニ更ニ一步ヲ進メテ、此ニ一國ノ工業ガ其
販路ノ許セル以上更ニ無限ニ膨脹シタル場合ヲ
研究センカ。常ニ保護政策ガ腐敗セル農業制度
地方農民ノ憫ム可キ狀態又ハ劣惡ナル貨幣制度
其他ノ特殊ノ原因ト結合シテ斯ル生産過剩ノ原
因ヲ爲セルヲ見ル可シ。然レモ此等特殊ノ原因
ハ一般ノ經濟的傾向及世界的市場發展ノ大局ト
殆ンド關スル處ナク、加フルニ近時「カルテル」
ノ非常ナル進步發達ハ國民經濟及世界經濟ノ兩
局面ニ於テ農業ト工業トノ調和平均ヲ致サシム

ルモノアルナリ。「カルテル」ノ斯ル效績ハ勿論僅ニ其一面ニシテ他ノ一方ヨリ觀レバ「カルテル」ニハ消費範圍ノ縮少ニヨリテ箇人ノ暴利ヲ求メントスル傾向ノ存セザルニ非ザルモソハ此ニ論ズル所ニ非ザルナリ。

要之、工業上ノ原料ハ多ク農業ノ副業又タハ一部の職業トシテ產出セラレ、農業ノ本業ハ飽迄吾人々類ノ食物ヲ供給スルニアルモ、然カモ

世界ノ廣キ單一耕作ノ行ハル、地方ニアリテハ通常食料品ノ產出ニ向テ充分ナル勞力及資本ヲ與ヘザルモノモ亦少カラズ、此場合ニアリテハ主トシテ食料品ト工業品トノ間ニ活潑ナル交換ヲ生ズ。例ヘバ砂糖ノ產地ヲ以テ有名ナル英領西印度ハ穀粉等ヲ大部分北米合衆國及「カナダ」等ニ仰ギ、「ブラジル」ハ千八百八十年ヨリ千八百九十年ニ至ル間又タ一部分ハ今日ニテモ珈琲栽培ノ結果トシテ穀粉米等ニ對シ歐羅巴及ビ南北亞米利加諸州ノ爲ニ特別ナル販路タリ。殊ニ

適切ナル例ハ埃及ニシテ此國ハ棉花產地トナリシ結果穀物、砂糖ノ輸出國ハ變ジテ之ガ輸入國トナルニ至レリ、又タ露領中央亞細亞ノ棉花產地ガ「オレンブルグ」「タシケンド」間ノ鐵道ニヨリテ露國ノ穀物產地ヨリ輸入ヲ仰グガ如キ其他之レト類似ノ例ハ「ニウーフアウンドランド」ノ森林地方ノ如キ英領「ファルクランド」島ノ牧場ノ如キアルナリ。(完)

以上ノ一文ハ維也內ノ「シルテル」氏カ昨年ノ社會學雜誌上ニ公ニセル一論文ノ要旨ナリ。各國一般ニ所謂經濟的自立ノ主義隆盛ヲ極メ相率ヒテ保護貿易策ニ熱中セルノ際、之ニ對シテ一旗幟ヲ樹テントスル其議論ハ大ニ味フ可キモノナキニ非ズ。依テ茲ニ其要旨ヲ摘記シヌ